

別海町立上春別小学校

上春別小だより

令和4年6月30日 第4号 発行人：校長 菅原 晋

【令和4年度のテーマ】

豊かなかわりの中で、自ら
学び、共に高め合う子を育てる

【身に付けさせる4つの力】

- ・人を大切にする力
- ・自分の考えを持つ力
- ・自分を表現する力
- ・チャレンジする力

～強く、しなやかに生きる～

＝コミュニケーション <話を聴く>＝

校長 菅原 晋



←
本校の
ブログは
こちらから
ご覧いただ
けます☆

QRコードはデタラメの登録です

■これまでの日本社会は、同質の似たもの同士ではっきり考えを言わなくても速いスピードで物事を進めることができ、それが「よし」とされてきました。これは、何をやるかという目的がはっきりしていた時代のことです。現代は、価値観も変容し、ジェンダー、国籍、年代など多様な人々でともに考え、コミュニケーションを図る中で、「新しいゴール」を創りだしていくことが大切になります。多様な人々の価値観を受け止めながら考えていくということは、お互いが変わっていくことにつながります。大切なのは自分の考えを主張するだけでなく、相手の『話を聴く』姿勢です。『話を聴く』ということは、いったん受けとめるということです。賛否を示すのではなく、「そういう考え方があるんだ」と受けとめる。そうすると、自分の考えと比べることができ、自身の考えを深めることにつながります。

■上春別小学校では対話的で深い学びを目指し、次の取組を行っています。

【手立て1】主体的な学びを支える課題設定

- 子どもの問いを引き出す問題や課題の設定。
- 「ねらい」と整合性のある課題・ゴールの設定。

【手立て2】共に学び合う場の工夫

- 自ら学ぶ場面や共に学び合う場面を効果的に取り入れる工夫。
- 話し合いの目的意識、ゴールが明確となった適切な手段となる工夫。

【手立て3】学びの実感がもてる振り返り

- 身に付けさせたい力の設定と明確化。
- 互いに認め合い、自分の考えの変容を自覚するなど、学びを実感できる振り返り場面の設定と活用。



第1回校内研修会より

1単位時間の中で、「自分の考えを持つ」、「グループで深める」、「振り返る」場面を設けることで、『共に学び、自らの学びを創る子』の育成を目指しています。

■6月21日（火）に上春別学校区コミュニティ・スクール運営協議会が開催されました。別海町教育委員会からは、学校の小規模化の影響を緩和する方策の1つとして、小中一貫教育の導入について説明がありました。義務教育の9年間を見通した学習指導・生徒指導を計画的・系統的に行うことにより、学力の向上や中学校進学に伴う環境変化の緩和、異学年交流や多くの教職員との関わりにより多様な人間関係の形成などが期待できることなどから、「笑顔あふれるまちべつかい」となるよう、別海町教育の振興・発展に向け、9年間を貫く小中一貫教育の推進が必要という趣旨です。今後、2026年度から準備が整った地区からのスタートを目指しています。また学級数及び児童数の見直しも示されました。

【上春別小学校の学級（普通学級）数・児童数】

（令和4年4月1日現在）

R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度		R10年度	
学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
4	43	4	40	4	37	3	34	3	35	4	33	4	31

☆全校遠足☆

6月17日に全校遠足で、アサリ掘り体験を行いました。大自然の中で、縦割り班で楽しい時間を過ごしました。



☆陶芸教室☆

6月27日、28日に上春別中学校にて上春別陶芸サークルの皆さんのご協力のもと、5、6年生が陶芸を学びました。秋の作品展でお披露目できるかと思えます。完成した作品を、ご覧いただけたら幸いです。



☆子育ての悩み、お気軽にご相談ください☆

本校には、ちょっとした子育ての悩みを気軽に相談できる支援コーディネーターが2名おります。

「こんな時、どうすればいいの〜？」

「子どもの様子が、いつもと違う。」

「なんだか子育てがうまくいかない。」

…些細なことでも、遠慮せずにご相談ください。

お子さんの健やかな成長を願いながら、一緒に子育て…楽しみませんか？

支援コーディネーター 教諭 鷲見 希
養護教諭 大溝 有花

☆子どもたちの心の成長を願って☆

第1回いじめに関するアンケートを全校で実施しました。子どもたちの困っていることに対して、少しでも解決していただくという目的で、年に2回毎年行っております。

(1) 今年4月から6月初めアンケート結果より

内容で多いのは、「ひやかしゃ、からかい」「無視」「軽くぶつかったり、たたかれたりする」です。ちょっとした冗談のつもりが、相手を傷つけていたり、遊びがエスカレートして衝動的に手がでたりしてしまうケースがあります。担任をはじめ、教職員みんなで色々な場面で声かけをして指導しています。同じようなことを繰り返さないために、感情をコントロールし自分たちで解決できる力が育つことを願って、見守り・指導を重ねていきます。

場合によっては保護者の皆様にも、声のかけ方や見守り等をお願いする場合がございます。子どもたちの成長を願い、ご協力をお願いいたします。

(2) 学校としての取組

- ①アンケートや、日頃のかかわりから、定期的にお子さんとの面談を行います。
- ②子どもたちのコミュニケーション力を高めるために縦割りの活動「上春タイム」を活用します。
- ③道徳の時間において、望ましい関わり方についてみんなで学びます。
- ④学校以外の活動（社会教育の行事等）への積極的な参加を呼びかけます。

*様々な場面を、心の育ちの絶好の機会ととらえ、学校・保護者・地域が一体となって子どもたちを育てていけたらと思います。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

<令和4年度7月行事予定>

バス時刻 ①14:30学校発 ②15:45学校発

日	曜	行事等	給食	バス	日	曜	行事等	給食	バス
1	金	全校朝会、授業参観日、個人面談（低学年）	○	14:00	17	日	北海道みんなの日		
2	土				18	月	海の日		
3	日				19	火	別海町新聞の日	○	①②
4	月	特別日課、分掌部会、個人面談①、体力テスト	○	①	20	水	特別日課 学校評価週間最終日	○	①
5	火	個人面談②	○	①②	21	木	水泳学習1～4年（午前）	○	①②
6	水	特別日課、職員会議、フッ化物洗口	○	①	22	金	4時間授業、終業式、給食あり	○	13:00
7	木	ALT、個人面談③	○	①②	23	土	夏季休業①		
8	金	クラブ、水泳学習5・6年（午前）	○	①②	24	日	夏季休業②		
9	土				25	月	夏季休業③ 給食費口座振替日（毎月納入家庭）		
10	日				26	火	夏季休業④		
11	月	大掃除週間（～20日）不審者対応訓練	○	①②	27	水	夏季休業⑤ ヒプリオバトル（午前）		
12	火	元気アップタイム	○	①②	28	木	夏季休業⑥		
13	水	特別日課 研修日 フッ化物洗口	○	①	29	金	夏季休業⑦		
14	木	宿泊学習ネイバル厚岸（5、6年）ALT、学校評価週間	○	①	30	土	夏季休業⑧		
15	金	宿泊学習ネイバル厚岸（5、6年）図書館見学（1、2年）	○	①	31	日	夏季休業⑨		
16	土	春季野球リトル少年野球大会			★2学期始業式は8月18日（木）です。				